



第 9 号
岩江中だより

←岩江中学校ホームページQRコード

発行日：令和3年 8月27日
文責：三春町立岩江中学校長
電話：0247-62-8290
FAX：0247-62-8380
Email：iwae-j@fcs.ed.jp

学校経営のテーマ 『変えてはならないものを守るために、変えるべきものを変え続ける』

リモートによる始業式で、2学期スタートしました。

夏らしい暑さがようやく戻ってきたところで、35日間の夏休みが終了しました。お盆休みは天候不順、そしてコロナの感染拡大も重なり、今年も例年どおりとはならない夏休みだったように思います。先日、プリントおよびメールで感染症対策の強化・徹底についてお知らせいたしました。感染対策と教育活動の両立により、充実した実りある2学期にできるよう教職員一同努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

【第2学期始業式】8月25日（水）

臨時の特設スタジオを食堂にセットし、各教室をリモートでつなぎ実施しました。各学年の代表生徒が1学期の学校生活や夏休みを振り返り、2学期の抱負を堂々と発表しました。

以下、始業式での校長あいさつを抜粋して掲載いたします。



さて、夏休み中に十七日間にわたり東京オリンピックが開催されました。選手と選手を支える人々が作り出した、無限の可能性と感動に触れることはできたでしょうか。また、多くの感動の場面から、「新しい自分に挑戦すること」、「それを支えること」の素晴らしさ感じ取ることはできたでしょうか。

大会中に選手たちが発した言葉の中で印象に残っている言葉があります。柔道の**大野将平**選手。個人では見事に金メダルを獲得し、オリンピックの二連覇を達成した選手です。混合団体の決勝戦、日本はフランスに敗れました。しかも、大野選手の出番が来る前に勝敗が決まってしまう。「金メダル」を期待される中で、その無念と悔しさをグッとこらえて、大野選手はまず、勝者のフランスを「尊敬します」と讃えました。さらに日本チームを「誇りに思います」と、堂々と話しました。

東京オリンピックはこうした選手の活躍の一方で、SNSによる選手たちへの誹謗中傷が相次ぎニュースになりました。ネット上で、とげとげしい言葉を個人にぶつけ、安易にそして深く人を傷つける一部のネットユーザー。大野選手の言葉は、遠く遠く離れ消えてしまいそうになっていた、他者への「尊敬」と自分への「誇り」、その二つの背中を力強くつかんで、私たちのもとにぐっと引き戻してくれた。そんな気がしました。

周囲の人々や友達の良さを認め、尊重すること、同じように自分の良さに気づき、自信を持ち、前向きに行動すること、この大切さを、改めて私たちに教えてくれたように感じています。

昨日から始まったパラリンピック。選手の活躍や言葉から、再び感銘を受けるシーンがきっとあることでしょう。ぜひ注目してください。

【環境を整えながらスタートしました。】～職員チームワークで～

